

# 歴史を振り返る

先人の苦勞をしのび、その功績を忘れないために  
足跡をたどり、現代に生きる私たちの糧にしましょう

## 40周年記念座談会



# 医療の進歩と これからの患者会

### 〈ご出席の皆さん〉

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 理事長<br>松田之利       | 理事・各務原支部長<br>足立時男    |
| 副理事長<br>日比野房子     | 理事<br>森田まゆみ          |
| 副理事長<br>大矢正明      | 常務理事・難病連事務局長<br>安藤晴美 |
| 理事<br>小池芙美子       | 理事・難病連相談員<br>白木裕子    |
| 理事・岐阜支部長<br>伊藤まゆみ | (敬称略)                |



松田：去年の40周年大会では今までの歩みをや



松田理事長

りました。10年  
ごとに座談会も開  
いてきました。明  
日に向かって参考  
になること、足跡

を振り返りたい。理事の方に語っていただ  
こうと思います。

安藤：テーマを「医療の進歩とこれからの患者  
会」としたらどうでしょう。医療の目覚ま  
しい進歩について前回の役員会でも盛り上  
がった。そういう中での患者会の意識変化  
やこれからの展開について考えてみたいと  
思います。

松田：今までを振り返ってみて、こういうとこ  
ろが変わったよとか、岐腎会のあり方とか  
役割とかいろいろどうでしょう。

大矢：透析技術って言いますと、昔は透析に入  
ると先生が「あと5、6年ですかな」って。  
ものすごいショックだね。それでうつになっ  
たり、精神的な病を腎臓病以外に持ってし  
まう人もいて大変だったんです。ところが  
日本の透析技術っていうのは世界一なんだ  
そうです。それで20年、30年、全国で言い  
ますと、現在40年以上の透析歴の人が98人。  
透析患者も長く生きることができるよう